

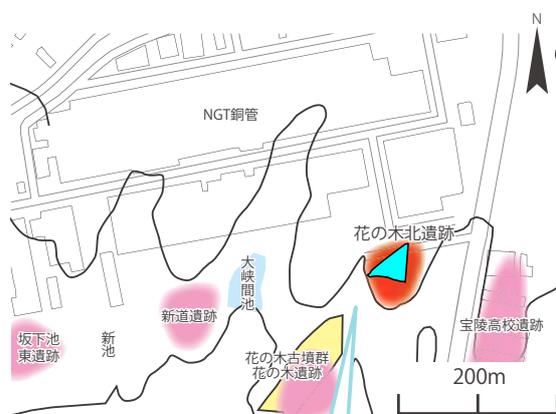


## 花の木北遺跡 発掘調査だより No.2

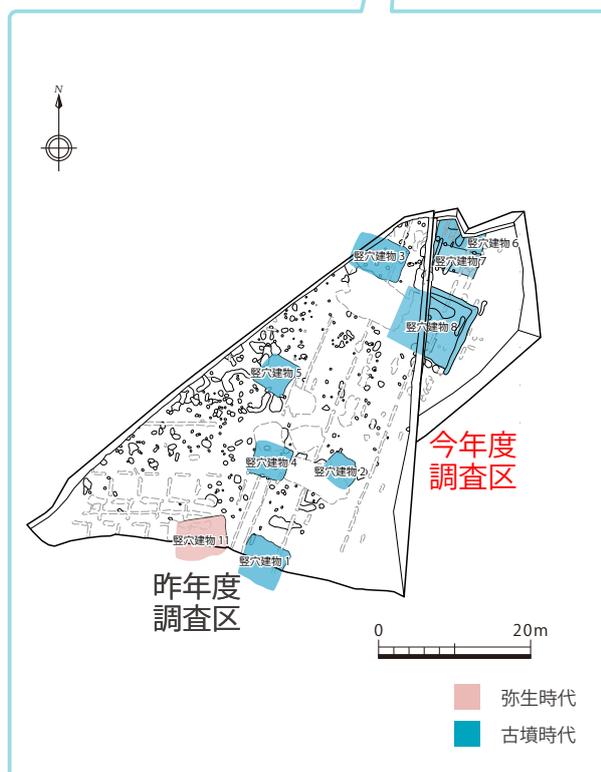
今年度の花の木北遺跡の発掘調査は6/5に開始し、7/3に現地調査を終了しました。近隣の皆さまには調査期間中にご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

今年度の調査区は、昨年度の調査区の東側に接した箇所を設定しました。調査の結果、竪穴建物跡(竪穴建物跡6・7・8)や土坑などを検出しました。昨年度の調査でも古墳時代の竪穴建物跡を5棟検出していますが、今年度の調査で検出した竪穴建物跡6・7は重なり合っており、遺構断面を検討した結果、竪穴建物跡6が新しく竪穴建物跡7が古いことが分かりました。出土遺物から2棟とも古墳時代中期と思われます。さらに竪穴建物跡6・7の南側からも竪穴建物跡8を検出しました。出土遺物から同じく古墳時代中期と思われます。

また、調査区の原地形が西から東へと傾斜しており、傾斜した面からは遺構が検出されなかったため、遺跡の東限に当たることが判明しました。



今年度調査区全景(上が北)





竪穴建物跡6 検出状況(南から)

### 竪穴建物跡6

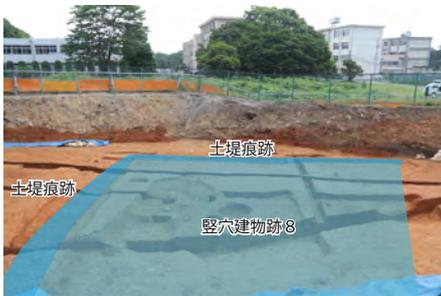
竪穴建物跡6は調査区の北端で東西約6mの規模で検出しました。(北半分は調査区外により未調査)。近代の耕作などによる開墾時に大きく削られ、床面はほとんど残存していませんでしたが、出土した遺物から古墳時代中期の竪穴建物跡と判明しました。また竪穴建物跡6を切っている土坑からは、古墳時代後期の須恵器が出土しました。



竪穴建物跡7 検出状況(南から)

### 竪穴建物跡7

竪穴建物跡6に切られた形で東西約6m、南北約4mの規模で検出しました。竪穴建物跡6と同じく近代の耕作による削平を受けていますが、一部床面が残存していました。竪穴建物跡7は竪穴建物跡6に切られており、竪穴建物跡6より古くなりますが、時期差はほとんどないものと思われます。



竪穴建物跡8 検出状況(西から)

### 竪穴建物跡8

竪穴建物跡8の上面には近世以降の土坑がありましたが、後世の削平が深くまでおよんでいなかったため、竪穴建物跡6・7より残りの良い状態で東西約7m、南北約9m(土堤痕跡を含めて)の規模で検出しました。竪穴建物跡8の周囲には土堤として竪穴建物跡8を囲っていたと思われる痕跡も検出しました。床面からは古墳時代中期頃の土師器の小型丸底壺、土師器の壺、甕の遺物が出土しました。床面からは、柱穴と思われる遺構も検出しました。



竪穴建物跡8 出土遺物(土師器・小型丸底壺)



竪穴建物跡8 出土遺物(土師器・甕)



竪穴建物跡8 出土遺物(土師器・甕)